

Weekly コラム

令和 3 年 3 月 30 日

〒541-0055 大阪市中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

エネルギー新時代

米大統領選で、勝利を宣言したバイデン氏ですが、2035 年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにするという目標をかかげており、いわゆる脱炭素に 4 年間で 210 兆円の環境投資をする方針です。再生可能エネルギーや電気自動車、水素などを拡大する方向のようです。

それらの環境エネルギーの中で、これから力を入れてくると思われるのが水素です。なぜ水素かといいますと、水素は利用段階で二酸化炭素を排出しないエネルギーであり、二酸化炭素排出量の多い「電力部門」「産業部門」「運輸部門」において水素を活用することによって低炭素化へ貢献するとされています。さらに製造時に二酸化炭素を排出しない方法で作った CO₂フリー水素を利用することで、完全に CO₂を排出しないゼロエミッションなエネルギーシステムに大きく貢献することが可能なのです。水素自動車や水素電車など、そして、最終的には家庭用の水素版燃料電池へと、これから世界的に水素に舵が大きく切られようとしていると考えられます。

また、アメリカだけでなく、ヨーロッパも 2030 年までに水素エネルギーの普及に 50 兆円規模の巨費を投じる構想です。欧州はアジア企業を儲けさせる環境対策を転換させようと EV から水素エネルギーに注力するようです。それはなぜかというと、EV が普及すればするほど、欧州のエンジン工場がなくなり、雇用が失われてしまうからです。EV のコストの多くを占めるリチウムイオン電池の主要メーカーがひしめくアジア企業が儲かる仕組みになって

おり、その現状を打開するには水素しかないと考えているようです。

バイデン新大統領が就任すれば、日米欧ともに、この脱炭素の流れになっていくと考えられ、世界の流れが、水素に向かえば、再生エネルギーの設備に使われる希少金属の需要が高まり、産出国からの調達を巡って日米欧の競争が加熱する可能性も考えられます。事実、水素自動車に必要とされるプラチナの価格はバイデン氏が米大統領選挙で勝利宣言をしてから上げてきております。これから資源価格、そして資源国通貨にも注目していくと面白いのではないのでしょうか。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。